

## 2025.9.27『通信制高校・サポート校合同相談会』における講演の報告

### 『通信制高校・サポート校合同相談会』を開催されました



学びリンクが、9月27日(土)に、福岡ファッションビル 8F(福岡県福岡市)にて、「通信制高校・サポート校合同相談会」を開催しました。

講演会場では、「中等部・フリースクール」「通信制高校・サポート校のしくみ」「海外留学」「不登校生への支援」「学校選びの前の気持ちの整理」をテーマにした講演が行われました。

「中等部・フリースクール」の講演では、学びリンクの小林建太編集長が、近年増えている通信制高校の中等部の特徴や通うメリットなどを解説。講演の最後には、各校によるスピーチも行われました。



午後からは、西日本新聞編集委員の四宮淳平さんの新刊『「居場所」難民』出版記念の講演が行われました。四宮さんを聞き手に、不登校生支援の会「ぼちぼちの会」会長の木村素也さんが不登校生にとっての安心できる居場所づくりや、進路選択についてお話しました。

「不登校生は通信制高校をなぜ選ぶのか」という問いかけに具体的に話をされていたことが印象的でした。不登校生支援の会「ぼちぼちの会」会長の木村素也先生(元福岡市立能古中学校校長)による教育相談では、相談の親子の皆さんが熱心に耳を傾けていらっしゃいました。

しくみ講演では、学びリンク株式会社代表の山口教雄が、通信制高校とサポート校の卒業に必要な条件や学校選びのコツなどについて解説。メモを取りながら耳を傾けるお客様の姿が見られました。また、通信制高校卒業生による体験談もあり、発表後には来場者の方からの質問に答えていました

会場の各学校の個別相談ブースにも多くの保護者や高校生、中学生が訪れ、実際の先生方からお話を聞いていました。

その他、大学進学や海外留学の相談コーナーなどのコーナーが開設され、多くの方が相

談に訪れていました。そのほかにも、「メンタルカウンセリング」「スクールソーシャルワーカー」「不登校・教育」「親の会」の相談コーナーも、たくさんの方が足を運んでいました。また、相談会場には設けられたパンフレットコーナーも大賑わいでした。



#### ■不登校・教育相談コーナー 10:30～15:30

木村素也さん（ぼちぼちの会会長、元福岡市立能古中学校校長）が教育相談を担当します。

#### 講演

新刊『「居場所」難民』出版記念 福岡支援者対談「安心できる居場所からつながる高校選択」

- 「西日本新聞」編集委員・四宮淳平さんによる「木村素也さん」公開インタビュー

講演者①：「西日本新聞」編集委員 四宮淳平さん

西日本新聞社の教育担当編集委員として、長年、教育分野、不登校に関する報道を担当。2020年には記者として活動する傍ら、事業構想大学院大学福岡校で事業構想修士の学位を取得。その研究成果を生かし、不登校支援を目的とした2回のクラウドファンディングに携わる。2025年8月に著書『「居場所」難民―報道記者が見た不登校の深層―』（学びリンク）を上梓。記者として捉えた不登校の実態のほか、自身の子どもが不登校となった当事者の親としての経験を綴っている。



講演者②：不登校生支援の会「ぼちぼちの会」会長、元福岡市立能古中学校校長 木村素也さん

2014年3月に福岡市立能古中学校校長を退任。現在、「ぼちぼちの会」会長として各保護者の会と連携しながら福岡の不登校生支援に関わっています。2014年、『不登校支援の輪をつなげよう ～『不登校生の保護者会』を通して学んだこと～』（学びリンク）を上梓。不登校の子どもたちの高校選びについてお話いただきます。

